

カナンの風

2017年12月

No. 3



日本キリスト教団
河内長野教会

教会ではこんな集まりがあります。

主日礼拝 日曜日朝 10 時 15 分～11 時半
礼拝説教はHPにのせてあります。

教会学校 日曜日朝 9 時～10 時

祈 禱 会 木曜日朝 10 時～

聖 歌 隊 練習日第 2 日曜日礼拝後

求道者会 第 2、4 日曜日 午後 3 時～

共に読み語る会 第 3 日曜日礼拝後

壮年会・婦人会 第 4 日曜日礼拝後

聖書・讃美歌は用意しています。

12 月～2 月のおもなスケジュール

12 月 3 日(土) 午後 6 時 30 分 チャペルコンサート

12 月 24 日(日) 午前 10 時 15 分クリスマス礼拝
午後 6 時 聖夜讃美礼拝

1 月 1 日(月) 午前 11 時 元旦礼拝

2 月 11 日(日) 教会学校もちつき大会
12 時 30 分～



一九三四年献堂の古野町の旧会堂

牧師のメッセージ

「あなた方は、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなた方へのしるしである」。

(新約聖書 ルカによる福音書 2章 12節)

二千年ほど前のこと、神の独り子が天上から地上に降りてきてマリヤに宿りご降誕になりました。このお方が救い主イエス・キリストです。

天使から救い主の到来を聞いた羊飼いたちは思ったことでしょう。神の独り子がお越しになったのなら神々しく輝くお姿に違いない、また王宮においてになったのだらうと…。でも、救い主のしるしはというと…。何と、家畜小屋の飼葉桶に布にくるまって寝ている赤ちゃん！

私たちの生きる労苦と喜びをそのまま身に受けるために、神の御子が私たちと全く同じ人となられました。クリスマスおめでとう。

河内長野教会の歴史（その2）

A・Dヘール宣教師の説教を聞いた人たちの中から洗礼を受ける人が増え、キリスト教(プロテスタント)の信仰が河内長野に広がって行きました。当初は教会の場所が定まらず借家住まいが続き、その間、日曜学校によって子どもたちに福音を伝えることに力を注ぎました。礼拝は夕礼拝が中心で、特に祈禱会を盛んに行ない、教会の基礎を固めて行きました。1934年、信徒の祈りと献財により古野町に新しく教会堂を建て、伝道、教会形成の道を歩み出しました。1936年には、信徒数は55名、日曜学校の生徒数は120名になりました。ところが、日本は世界大戦に突入し、教会は大きな打撃を受けました。河内長野教会は焼失を免れたものの、全国の諸教会と同じように教勢は衰退していきました。このような厳しい環境のなかで、牧師や信徒の懸命の努力によって信仰は守られました。

河内長野教会へどうぞ！

日曜日の朝、教会には赤ちゃんから100歳をこえる方までいろいろな人たちが集まります。

たからかに讃美歌を歌い、祈り、聖書のお話を聞くために。

終わるころには、うれしい気持ちになり、今週も元気に過ごそうと、笑顔になっています。

神さまが私たちとともにいてくださることがわかるから。

教会は、そんなところ。

あなたもぜひ教会へおいでください。
おまちしています。



日本基督教団 河内長野教会

牧 師 森田恭一郎

〒586-0016 河内長野市西代町 10-19

☎ & Fax 0721-52-2323

H P <http://www.eonet.ne.jp/~akaiyane/>

E メール akaiyane@iris.eonet.ne.jp